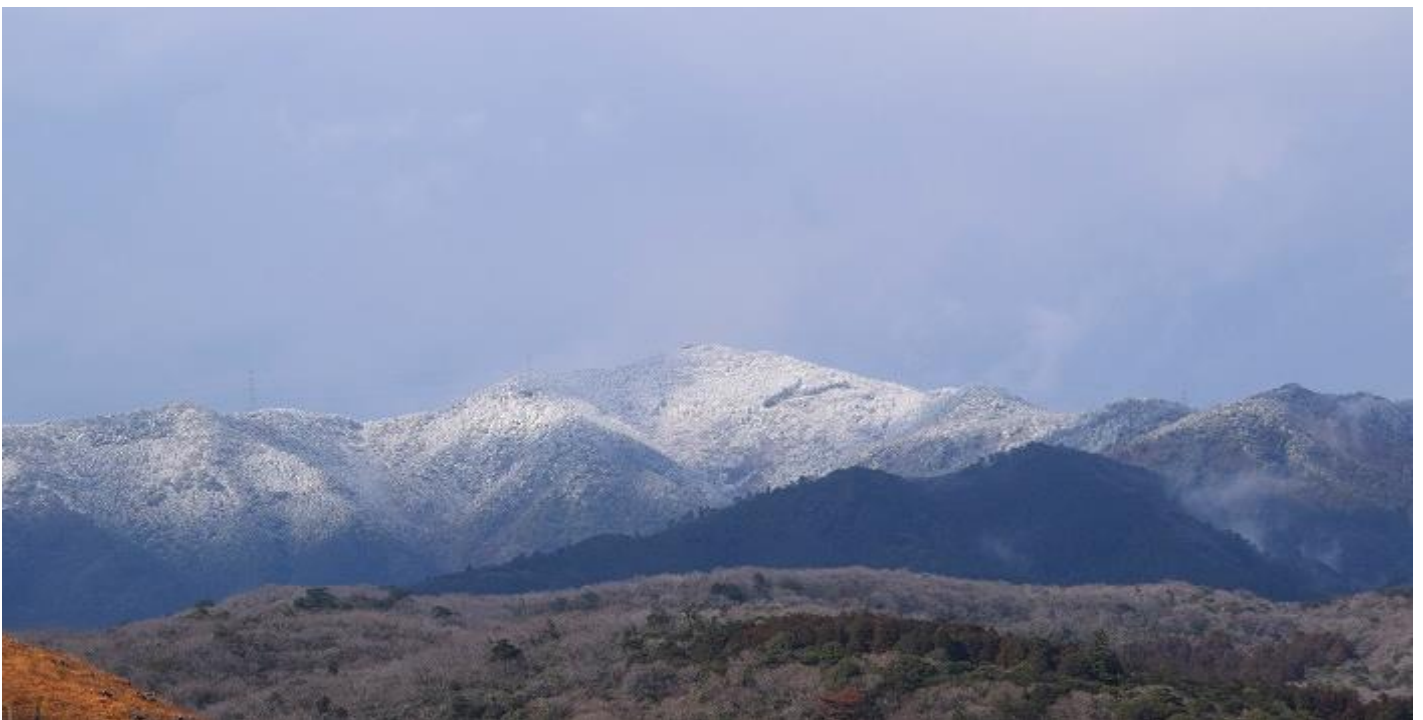


## 秋吉台 それでも春はやって来る！！

地球温暖化といわれますが、寒い時には寒いです。とにかく今冬は雪の多い年でした。延び延びになっていた秋吉台山焼きが3月1日に実施されましたが、火を入れたものの例年のように枯れた草原が燃え広がらず、そのほとんどが焼け残りました。その後の秋吉台風景は、昨秋と同じです。今年は、新緑に映える石灰岩の広がるカルスト台地、草原は期待できないかも知れません。しかしながら今、季節は春です。新しい芽出しは幾分遅れてはいるようですが、「春の兆し」は感じています。

(写真は3月18日の桂木山の様子です)



## 季節の花 春暁、早く目覚めて～～。

**ヒメナズナ** 駐車場などの荒地や芝生の中にも生えるアブラナ科の越年草。小さく白い花は先端が深く切れ込んでいます。初めて見つけたときは、珍しいと思いましたが、周りを見たらここかしこ。

**ヤマアイ** 林内などに生える雌雄異株のトウダイグサ科の多年草。花が緑色なので、咲いているか分かりにくいのですが、小さくて可愛い花です。古くから染料に利用されていました。アイと付いていますが、藍色ではなく緑色だそうです。

**ヒメウス** 田畑の土手や荒地、林縁などどこにでも生えるキンポウゲ科の多年草。直径5mmほどの小さな花が下に向けて咲きます。可愛い花ですが、全体が細くて思うようには撮れません。



## キバナノアマナ シカに食べられて絶滅の危機？

林縁などの少し湿気のあるところに生えるユリ科の多年草です。細くて弱そうな茎に黄色い花が数輪まとまって咲きます。ただ、花が開く時間帯があって、天気の良い昼前後の数時間です。毎年確認している自生地は1か所だけですが、ここ数年来シカが出没するようになり、葉がずい分と食べられています。アマナというから甘いのかもかもしれません。こんな小さな葉を食べなくても、もっと他に要領よく食べられる大きな葉があると思うのですが…。



## ヤマシャクヤク 4年目にして初蕾、開花に期待

知人から分けていただいたタネを播いたのが令和3年の夏。その中の2株に初めてツボミが付きました。植木鉢で肥料を施して育てても4年かかりました。自生地での環境だともっと年数がかかることでしょうか。20年ほど前にも育てたことがあるのですが、どうしても地上部が枯れた時期の管理が難しく、翌年には新芽が出ずに枯死してしまいました。今回はそのことに注意して手入れをしてここまで育ちました。このまま開花してほしいです。



## ミニ写真展 早春の風物詩「秋吉台山焼き」

秋吉台エコ・ミュージアムでは、山焼きのようすを撮影したミニ写真展を開催しています。期間は3月14日から4月26日までです。昨年までに撮影されたようすの中から26枚を選択してA3版の写真で紹介。オレンジ色の炎に包まれる長者ヶ森や燃え広がる北山の山裾。こんがりと黒く焼けた年や、ムラのあるドラ焼けになった年もありますが、いずれもその後には黒い台地と白い石灰岩のカルスト台地が現れます。



# 4月の行事



4月6日(日) 「化石採集体験」  
大正洞桜まつりと同時開催です。